

学生と教員の見方



【アピールポイント】
ゼミでリノベーション建物を研究し、論文執筆や現地調査を重ねて具体的な事例を深く探究しています。

取引となる。買主には、評価額には映らない価値が捉えられているのである。そこで、「ミニニケーション」を図れる環境整備が求められている。この点については、同ビルの基準階床面積の広さに即応したレイアウトの自由度の高さが魅力となる。例えば、「リフ

スワーカーが、一つの場所に集まつて「ミニニケーション」を図れる環境整備が求められている。この点については、同ビルの基準階床面積の広さに即応したレイアウトの自由度の高さが魅

力となる。例えば、「リフ

・カフェスペース」、「食堂

・カーフィット」、「

・ラビング」などオフィス

が抱える課題として「ウェ

ルビーライフ」、「

・オフィスのテナントが移転し

てきた」。

オフィスビル

合研究所)への対応も可能

となる。今日のオフィス

が抱える課題として「ウェ

ルビーライフ」、「

・オフィスのテナントが移転し

てきた」。

オフィスビル

合研究所)への対応も可能

となる。今日のオフィス

が抱える課題として「ウェ

ルビーライフ」、「

・オフィスのテナントが移転し

てきた」。

【学生の見方&考え方】

(3年
栗原萌衣)

浦安アーバンビルは、新浦安駅から徒歩3分と近く立地はとてもよい。周辺には飲食店や商業施設も多く、生活の利便性も高い。

外観はとてもシンプルなイメージで、周辺の建物と調和しながらも存在感のあるビルだ。また統一された窓ガラスも印象に残る。

このビルには、ゆとりあ

る空間設計と機能的な設備

に魅力を感じる。床から天井までの高さは2・7mと十分な余裕があり、圧迫感のない開放的なオフィス環境が印象的である。また、基準階床面積約400坪は、

「投資用不動産としての価値創造③」

た、床から天井まで2・7m

があり、普通

の2・1mほど

は空間の広さ

が全く異なっている。

このビルは、偏心コアタ

ズにも応えているのではな

い。また、管理状態も良

い。

このビルは、かつてはJリ

ームタワー新浦安(前回

ライムタワー新浦安(前回

紹介ビル)の基準階床面積約400坪の広さであろう。

当該面積は、20階建てのアーバンビルの調査結果から外れた位置に配置され

ている。そのため、オフィ

スフロアは広く自由なレイ

アウトを実現している。ま

れていると思う。

オフィスビルに対する私の見方

レバーテーの高さは2・4m

があり、普通

の2・1mほど

は空間の広さ

があるため、地域の医療ニ

イフの構造であり、エレベ

ーターや階段などが中央部

好であり、エレベーターや

設備が適切に保守されてい

るところからテナントにと

り、安心できる環境が整そ

り等しい。

オフィスビル

の特徴の一つ

は、基準階床面

積約400坪の

広さであろう。

オフィスビル

の特徴の一つ

は、基準階床面